

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1570300473		
法人名	社会福祉法人 上越老人福祉協会		
事業所名	グループホーム敬寿		
所在地	新潟県上越市新南町28番地3		
自己評価作成日	平成30年10月8日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kai.gokensaku.nhlw.go.jp/15/1/ndex.php?act=on_kouhyou_detai_1_2018_022_kani=true&Ji_gyosyoCd=1570300473-00&PrEfCd=15&Ver=si_onCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	平成30年11月29日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・8畳相当の個室とワンフロアのリビングがある。それぞれの思いで居室で過ごされたり、リビングで他の利用者と同じ空間で過ごすこともできる。温かい雰囲気の中で過ごして貰いたいと願い、職員との関わりや利用者同士のかかわりの際の配席等に配慮している。・役割を持って生活する事に繋がられる様、食事前後の挨拶の声掛けや、茶碗洗いの時のすすぎや米とぎ、野菜の下拵え等の調理作業を、可能な範囲で実施して貰っている。・洗濯干し、洗濯物たたみ、玄関掃除等日常的に自分の役割として捉え進んで実施して貰っている。・午前中は、集中して作業を取り組む時間として、それぞれできる範囲の居室掃除と、計算問題、塗り絵、折り紙、読書等の作業活動の時間としている。・午後は気分転換や筋力維持に繋がられる様に体操、フローア歩行、簡単なゲーム等のレクリエーションの時間としている。・近隣町内の行事参加や地域のいきいきサロンに参加、季節毎のドライブ外出、近所のスーパーマーケットへの日常的な食材の買い物や、個人毎の必要物品の買い物等に、できるだけ出掛けてもらえるように段取りしている。・内科等の体調が安定していて、家族からの依頼と主治医の紹介があれば、グループの精神科医院への定期受診に職員が付き添いしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○ゆったりとした生活環境と理念に沿った心温かい支援
事業所は、上越市で多数の介護保険事業を展開する社会福祉法人が運営しており、敷地内には同法人の介護老人保健施設が母体法人として隣接しており、職員研修や防災訓練等、様々な連携・協力体制が構築されている。室内は共有スペース・各居室ともに広く、ゆったりと生活できる十分な空間が広がっている。玄関回りやリビングには利用者の作った様々な作品が随所に飾られ、生活に彩りと家庭的な雰囲気が醸しだされている。職員は利用者にとって安らぐ環境となるよう、利用者の気持ちを尊重し常に寄り添いながら理念に沿った心温かい支援を日々展開している。利用者は畑での野菜作りや家事仕事、余暇活動に取り組むなど、持っている力や知恵・技術を発揮しながら充実した生活を送っていることが感じられる。また、地域行事や「いきいきサロン」への参加、季節行事の外出、日常的な買い物外出等、外に出る機会を多く設け、生活の楽しみが広がるよう支援に努めている。

○利用者の生活の質の向上に向けた職員意見の反映
職員会議の他、日々のミーティングの時間等で利用者の状況や環境面などが話し合わせ、情報共有が図られている。職員から出された意見は管理者が提案や要望として法人の会議にも挙げ、話し合われる仕組みがあり、職員の提案からホットボックスやタッチアップバー等が設置されている。これらの取り組みは職員のやる気を高めるとともに利用者の生活の豊かさにも繋がっている。

○関係機関や地域との連携について
運営推進会議メンバーは、利用者・家族代表、町内会長、地区の民生委員、行政関係者等で構成されている。利用状況や取り組みについて率直な意見をもらい、意見・要望等はサービス向上に活かされるよう取り組んでいる。今年度は市の介護相談員による定期的な訪問が行われており、利用者目線から気づいたことを事業所に伝えてもらい、いただいた意見は職員間で話し合う機会を持つ等、行政との連携が図られている。地域との連携・交流も定着し、毎年行われる地域行事への参加は恒例で利用者の楽しみとなっている。避難訓練には地域住民が参加し協力体制を築く取り組みにも力を入れており、関係機関・地域と共に住み慣れた地域での暮らしを支えていこうとする姿勢が窺えた。